



秋穂町広報

No. 95

人口と世帯数

(2月末)

人口	9580人
秋穂地区	6134人
大海地区	3446人
世帯数	2317世帯
秋穂地区	1459世帯
大海地区	858世帯

一日一円で交通災害共済 新年度会員募集三月一日から受付

最近ますます増加している交通災害の危険にそなえて、町民みなさんの助けあいの制度として、昨年五月から町民交通災害共済制度が発足しました。現在の加入者数は四千六百六十八人(加入率四九%)で、町民の約半数の方々が加入しておられます。

台帳または外国人登録原票に登録されている人。
二、会費(掛金) 三百六十円
三、共済の期間 四月一日から明年三月三十一日までの一年間。
四、対象となる事故 交通乗用具の運行によって生じた交通事故。

五、見舞金の金額
①死亡のとき 六十万円
②ケガで治療を要するとき、治療期間一年以上 十五万円
③治療期間六月以上 十万円
④ 〃 三月以上 五万円
⑤ 〃 二月以上 三万円
⑥ 〃 一月以上 一万五千元
⑦ 〃 一週間以上 五千元

六、役場へ申込を
加入申込書に会費をそえて、町役場または大海支所へ申込んでください。ただし三月中は区長さんにとりまともをお願いしていますので、区長さんに申込みをしてください

七、事故の証明がいりません。道路交通法に定められている車輛による道路上の事故の場合は、必ず警察署の証明が必要ですので、事故が発生したときすぐに、警察に届出を忘れないよう注意してください。

現在使用中の被保険者証は、三月三十一日限りで、有効期限が切れますので、被保険者の確認と、被保険者証の有効期限を一年間延長するため、三月二十四日から三十一日迄の間に、被保険者証の検認を行ないます。被保険者証は、婦人会を通じて提出して頂く予定ですが、この検認を受けない被保険者証は、四月一日以降は無効となり、治療費は全額自己負担となりますから、更新期間に入るといつでも提出できるように準備しておいて下さい。また検認のため、被保険者証を提出中に受診される場合には、被保険者証にかわる証明書をお渡しいたしますから、町役場保険年金課、又は大海支所に申し出下さい

国保被保険者証の検認
尚、転出入、転居、社会保険加入、脱退等の異動がある場合は、三月三十一日迄に必ず届出をされるよう併せてお願いします。

所得税確定申告は三月十五日まで
三税の申告は申告書一通で!!

昭和三十九年分「所得税」「個人の事業税」「個人の住民税」は昨年同様「所得税の確定申告書」一枚で申告が済みます。

申告書の提出期限は二月十六日から三月十五日までです。

必要事項の記入は昨年とはおなじですが、「申告書の書き方」などをよく読まれちがいのないよう記入してください。

所得税の確定申告書の提出を要しない方は、従来どおり三月十五日までに個人事業税は県へ、個人の住民税は町へ、それぞれ申告書を提出してください。

なお、この場合青色申告の決算書は税務署へ提出してください。

交通災害共済の加入者数と見舞金支給状況 —43年度—

加入者数	4,668人 (加入率49%)
見舞金	24件 1,445,000円
1等級 (50万円)	2件 1,000,000円
2 〃 (15万円)	—
3 〃 (10万円)	1 100,000
4 〃 (5万円)	2 100,000
5 〃 (2万円)	10 200,000
6 〃 (5千円)	9 45,000

国保被保険者証の検認

現在使用中の被保険者証は、三月三十一日限りで、有効期限が切れますので、被保険者の確認と、被保険者証の有効期限を一年間延長するため、三月二十四日から三十一日迄の間に、被保険者証の検認を行ないます。被保険者証は、婦人会を通じて提出して頂く予定ですが、この検認を受けない被保険者証は、四月一日以降は無効となり、治療費は全額自己負担となりますから、更新期間に入るといつでも提出できるように準備しておいて下さい。また検認のため、被保険者証を提出中に受診される場合には、被保険者証にかわる証明書をお渡しいたしますから、町役場保険年金課、又は大海支所に申し出下さい

所得税確定申告は三月十五日まで

三税の申告は申告書一通で!!

昭和三十九年分「所得税」「個人の事業税」「個人の住民税」は昨年同様「所得税の確定申告書」一枚で申告が済みます。

申告書の提出期限は二月十六日から三月十五日までです。

必要事項の記入は昨年とはおなじですが、「申告書の書き方」などをよく読まれちがいのないよう記入してください。

所得税の確定申告書の提出を要しない方は、従来どおり三月十五日までに個人事業税は県へ、個人の住民税は町へ、それぞれ申告書を提出してください。

なお、この場合青色申告の決算書は税務署へ提出してください。

必要事項の記入は昨年とはおなじですが、「申告書の書き方」などをよく読まれちがいのないよう記入してください。

議会だより

一月臨時町議会

一般会計予算補正
三百六十八万円

一月二十一日開催された臨時町議会で、四十三年度一般会計補正予算などが可決され会期一日で終了しました。

決まった議案

○昭和四十三年度一般会計補正予算(第四号)
補正額 三六八〇千円
総額 二六二、〇二〇千円

○交通災害共済条例の一部改正
共済見舞金の等級区分を六等級から七等級に改正し、最高(死亡時)五十万円を六十万円に増額。
(四月一日から実施)

昭和四十四年度予算などを審議される三月定例議会は三月十日ごろ開かれる予定でこのたびの議会では新年度予算のほか四十三年度補正予算や一般職の職員の給与改正などが提出される予定になっています。

たばこは

町内の店で

買いまじり

春季全国火災予防運動

2月28日～3月13日

○春は火災の季節

毎年春さきになると火災が多くなっています。昨年一年間に本町で発生した火災六件のうち五件は、三月から六月の間に発生しています。

春は気象条件の関係で火災が発生しやすく、また大火になりやすい季節です。恐しい火災の発生を防止するためには、私たちのひとりひとりが火災予防思想を高め、日常生活において適切な防火管理に努めなければなりません。国民の防火に対する注意を喚起するため、毎年春と秋の二回全国一斉に火災予防運動が実施されています。今年は二月二十八日から三月十三日までの十四日間実施されますが、前半の七日間は林野車両、船舶火災の防止を重点的に行なわれます。

○山火事の防止に注意しましょう。

三月から六月までは山火事が非常に多く発生しています。この季節は空気が乾燥していて、風の強い日が多く、ちよっとした火から草や木が燃えやすい状態に

なっています。またこの季節は田畑の草焼き、山林原野の火入れなどの野良仕事や山仕事が多くなり、ハイキングなどのリクリエーションが盛んに行なわれますのでたき火などをする

ことが多いため、山火事の危険性は一段と高くなっています。昨年の本町の火災六件のうち四件は山林原野の火災でした。そして三件は春の季節に起っています。なんの気なしに捨てたタバコの吸い殻や、たき火の残火の不仕末で火事になることが多いのです。草焼きなどをするときには十分注意して、タバコ、たき火の跡仕末にもよく気をつけて山火事を起きぬよう注意しましょう。

源泉還付申告書は早目に

源泉徴収された所得税の還付を受ける方は、早目に申告書を出してください。確定申告の最盛期になると、事務手続上還付が遅くなりがちです。申告書を出される場合は、住所氏名および支払を受ける郵便局名を正確に記入してください。申告書の用紙は税務署

あなたは老齢

年金がもらえますか

「一月六日は何の日？」知らない人が多いでしょうが、人には関係がないので知

られる方には、すぐおわかりです。そう「福祉年金の支払日」です。すでにお受けになって、孫にほしい物を買ってあげたり、二人でお湯にでもお出かけになったりして、お楽しみが多かったことと思います。体に気をつけて長生きして下さい。

このように、保険料を納めずにもらえる老令福祉年金は、昭和三十六年四月一日で五十五才以上の人(明治四十四年四月一日以前に生れた人)に限られ、それ以外の人は、国民年金に加入し保険料を納めるか免除をうけていないと老令になっても年金をもらうことは出来ないのです。

若い働き盛りには馬鹿くさいノとか年金なんてほしくないノと思っても、さて人がもらうようになるかと誰でもほしくなるのが人情です。つとめていた会社を退めた人や、農業、漁業自営業等での年金制度にも加入していない二十才以上の人は、今すぐ国民年金に加入しましょう。又、会社員や公務員などの奥さん方は、加入が義務づけられておりませんが、将来自分自身の年金が受けられるよう、進んで加入されるようおすすめます。

傷病恩給

再審査請求

傷病恩給受給者で、有期の裁定を受けた者の期間満了の時期は、一律に昭和四十四年三月です。この期間満了の六ヶ月前までに傷疾疾病が回復しない場合は、昭和四十四年三月末日までに直接恩給局長宛に再審査請求の手続きをしなければなりませんのでお知らせします。

尚詳細については、町役場保険年金課にお問い合わせ下さい。

離れたとき、夫婦が共に年金を受け安定した老後を暮すには、まず日頃の心掛けが大切です。

小さく納めて、大きな給付。これが国民年金です。手続きは印鑑を持って支所又は保険年金課において下さい。

尚年金についておわかりにならない点は、いつでも保険年金課(有線40番)へおたずね下さい。



交通事故相談所を 利用しよう

昭和四十三年中に県の相談所が受理した相談件数は千二百八十五件(一日平均約四件)で継続を含めた取り扱件数は二千五百一件(一日平均約八件)にのぼっています。

相談来訪者数は三千二百二十三人(被害者側二千二百二十人、加害者側千二十八人、その他七十五人)に達し前年に比べ大巾に増加しています。

この傾向は、交通事故が急増していることもさることながら、やはり相談所に対する一般の認識が高まってきたことを物語っています。

しかし、まだ公的な相談機関を利用しなかったり、または相談時期が極端におくれたため、いたずらに解決を困難にしたり、不当な示談に泣き寝入りしている事例が相当数あることも事実です。特に次の点に注意して、進んで相談所の利用を心がけるようにしてください。

○相談は早目に
事故が発生した場合は損害賠償示談のすすめ方など基礎的な予備知識を持つて

とが問題解決に役立ちますので早目に利用してください。

相談に際しては事故の状況、治療の状況なども詳しく気軽に話すように心がけてください。

事故内容があいまいであってはせっかくの相談に対して納得のいく指導なり助言を行なうことができません。かえって問題解決を誤らせる結果にもなりかねません。

交通事故は人の死活にもかかわる切実な問題です。県も今年度から相談員を一人増員し、現在四人で、巡回相談をもかねて相談業務を実施しておりますので、被害者もより加害者も積極的に相談所を利用されることをおすすめします。

今から十分な準備を

新入学児の健康と安全

△健康について

新入学児童に対する健康診断は必ず行なわれることになっており、本町ではすでに行なわれました。健康診断の結果、異常が発見された場合は、なるべく早く治療を行ない完全なからで登校させるようにしたいものです。

注意点としては、つぎの

ましよう。

目 顔を近づけてものを見たり遠くが見づらかったりするこどもは、近視、遠視、乱視の疑いがあります。最近では小さなころから近視になる傾向が強いのので十分注意したいものです。

勉強部屋の照明は、室内灯のほか電氣スタンド(自熱電球なら六十ワット・けい光灯なら十五ワット以上)を使うようにします。テレビについては、長時間みないこと、などを用意しましょう。

また机やいすなどの規格学習時、歩行時の姿勢にも十分気をくばりたいものです。

むし歯 乳歯はどうせはえかわるのだ、という考え方は禁物です。永久歯の発生に影響するばかりでなく胃腸障害などを起こすおそれがあります。毎日の歯みがきはもちろん、抜かなければならない歯は早く抜き十分治療をしておきましょう。

伝染病 伝染する病気は他人にめいわくをかけるのと同時に、いやがられて仲間はずれになります。トラコーマ・はやり目・湿しん・自せん・かいせん・水ぼうそうなどをはじめ、四月ごろに多いはしか・百日せき

などに注意しましょう。

早寝・早起き 幼稚園の教育は遊びの中で勉強という方法がとられます。しかし、小学校の教育は、きめられた時間にしたがって勉強する方法がとられます。こどもにとつては、これだけでも大きな負担となり緊張の連続で無意識のうちにも身も心も疲れてしまいます。

疲労回復には睡眠が第一です。低学年のあいだは最低十時間の睡眠が必要で、夜おそくまで起きていると、それだけ朝おそく起きるようになり、洗面も朝食もしないで登校することになってしまいます。これでは、疲労が重なるばかりです。

いまのうちから、早寝、早起きをする習慣をつけておくようにしたいものです。

うがい・手洗い 外から帰ったときはもちろん、食前食後のうがいをぜひ実行するように習慣づけておきましょう。また、洗面や手洗いは、こどもの健康の基本です。とりわけ、経口伝染病の防止には手洗いが第一です。食前や用便後は、必ず手洗いをさせるように注意しましょう。

△安全について

道路や安全施設の整備は着々と進められています。交通事故は、あいかわらずふえつづけています。

まず自分で自分を守ることを考えなければなりません。交通安全について、次のような点に注意したいものです。

実地の交通訓練を 親がこどもといっしょに歩いてやり、実際に道路の横断のしかた、右側通行、道路のまがりかた、自動車きたときのさけかた道路への飛び出しや車の直前直後の横断の禁止、道路標識や信号の見かた、などをくりかえして教えるようにしましょう。

安全な通学路の指定

通学のための安全コースを、実地に調べてこどもに教え、同じコースを往復するよう習慣づけておきましょう。

家庭から友だちの家や遊び場などに行く場合も、同じコースを行くように決めておくのも良いことです。

ところで、道路の交通状況は、刻々変化することが考えられますので、ときどきこどもといっしょに歩いてみて安全かどうか確かめてみる必要があります。

「青年の声」

論 文 発 表

今年成人式を迎えた若人たちの「青年の声」の論文募集を行いましたところ次のとおり応募者がありました。

応募論文は成人式で発表され、応募者にはそれぞれ記念品が贈られました。応募者と論文の一編を紹介いたします。(敬称略)

成人式を迎えて

小 浜 北野 信行

中津江 中村 敏子

浜 内 藤村 澄枝

私の訴えたいこと

成人式を迎えて

小浜 北野信行(左官業)

私の家は、私が小さかったころから、父が佐波川から砂を採取して運ぶ、砂船を営んでいました。この仕事は潮の満ち干きが相手なので、時間が不規則で条件が悪いので、船員が嫌って来てが少なく、大体の船が夫婦で乗るか、親子で乗っていました。

私の家も人手がないため母と一緒に乗っていましたので、二日や三日帰らないこともありました。その間、姉が炊事をし、風呂を焚いてくれました。小さいころは、夜が姉と二人なのでとつても怖かったことを、おぼえておられます。小学校に入り、春、夏、冬休みは船に乗り、わずかばかりだ

下村 近本 哲至

日 地 安村志保美

中 野 田中 信子

現代における青年の役割

黒濁南 伊藤 真晴

が父の手伝いをしました。

中学のころから大体仕事も慣れたので休みは、母を休ませ、父と二人で乗りま

した。母は目が不自由な為にとつても辛かったようです。その為、春、夏、冬休みが来るのを喜んでいました。だから私は進学を、あきらめ中学を卒業したら、父と二人で乗ることを心に決めていました。しかし卒業して、わずか一年足らずで、砂の採取許可が廃止された為、転業の浮目を見る破目になりました。いまさら高校に入ることもできずどんな仕事か私にむくか

考えた末、左官職を選びました。だが何の仕事も同じでしょうが、二年ぐらい思うようにいかず、気ばかりあせりましたが、この頃ようやく慣れ、この職を選ん

だことに生きがいを感じています。この仕事にも野帳場と町家の二種があり、野帳場の方は、タイルならタイル専門、ブロックならブロック専門と別々に分かれている為、左官は鏝を持って塗るだけなので技術は上手だが、それ以外はあまり得手でなく、町家の方は、風呂、タイル、ブロックからどろ壁まで一軒の家を仕上げなければならぬので、一人前になるにも年数がかかりますが、どこに行っても、どんな仕事でも専門程ではないけれども出来るので、町家の方を選び、師匠につきました。

一軒の家を完成させた時の喜び、自分達だけが味わえる喜び、この時、左官の仕事を選んでよかったとつくづく、感じさせてくれました。完成した仕事をふりかえってみて、まだ自分がほんとうに良く出来たと満足することは、まだありません。あの時、うまく出来なかったことを、今度の時はああいうふうになら、やってみようと反省することが多いのです。

完成したら次から次の現場へと通うわけですが、山口、宇部、徳山方面にも行くため、毎日同じ所へ通うわけでないのいい気分転換にもなり、多くの同職の

人達と親しくなり、仕事の事について、いろいろな施工法を聞かしてもらうのでいい勉強になります。

私もこの正月でまる三年になり、どうやらこうやら自分では、一通りのことは身につけたつもりです。この三年間を、ふりかえってみますと、はじめの頃はとつても辛くて、幾度かやめようかと思つたこともありましたが、家族や周囲の人達のはげましでどうにか、その場をきりぬけ、そのうち仕事のおもしろさがわかるようになり、新築を完成させればそれが一生、そこを通るたび、ああ、あれは自分達が完成させた家だと思ひ出し、年をとり自分の子供にも、あの家は、若い

ころ、お父さん達が、やった家だよと。又誰にでも自信を持って、言えるような仕事をしたいと思ひます。

まだ私達は二十歳。今から、ほんとうの辛いこと、悲しいこと、楽しいことに、あうはずです。いろいろな、夢や希望で、胸がふくらみ、若いことのすばらしさを味わせてくれます。

(原文のまま)



善意銀行

からの御礼

次の方々からご寄附を戴きました。善意誠に有難く、厚く御礼申し上げます。(敬称略)

一金五千円也

中 条 道中 康

一金壹千円也

金山嶺 鎌田 悟一

金壹千円也

花 香 南 中岡利男一

金壹千円也

海 岸 通 岡本ミヨ子

一金壹千円也

北 条 田中モトエ

一金參千円也

先 青 江 木村 良雄

一金貳千円也

海 岸 通 清水 恒夫

一金五百円也

黒 濁 北 国光 幸治

一金壹千円也

浜 内 道永 武雄

一金壹千円也

大 河 内 福田 和七

一金壹千円也

東 天 田 山本 忠市

一金壹万四円也

一 金 壹 千 円 也

屋 戸 繩田 照次

一 金 參 千 三 百 円 也 払 出 指 定

一 電 池 時 計 一 個 指 定 寄 附

福 江 衛 敏

梶 山 清 作

江 崎 泰